

2学期終業式が行われました



湯田恭文校長講話 (H25. 12. 20)

こんにちは

2学期の終業式にあたり、一言申し上げます。

今、生徒会長の中村君が、薬物乱用防止といじめ防止について、管内の生徒会長の会議の報告してくれました。

携帯が普及して十数年、スマホは数年です。皆さんの生きていく世界は膨大な情報が氾濫している社会です。これからも、科学は加速度的に進歩していくことでしょう。皆さんも巨大な情報を操作するようになるでしょう。

それは、人間の生活を豊かにすると共に、情報をどう扱うかが重要な問題になります。その在り方によっては人を死に至らしめることもあるのです。人は他者と協力しなければ生きて行けません。一方、人を傷つけることもあるのが人生です。

私もまた、今まで、何度も人をねたみ、傷つけたことがあります。人を傷つけたことのない人間はいません。

けれど大切なのは、傷つけまいとする気持ち、他者をいたわる気持ち、誤りを繰り返さない心ではないでしょうか？生徒の皆さんが、仲間を思い、相手を気遣い、自分の言葉や行動に責任を持ってくれることで、いじめの問題は相当数解決していくのではないかと思います。どうか、一人ひとりが考えて下さい。

さて、2年生は、見学旅行が終わり、進路実現に向けて切り替える時期です。鳥が空高く飛び立つためには、まず、羽ばたくことが必要です。何度も失敗することがあるかも知れませんが、まず飛ぼうという自分の意志を持つことが大切です。この冬休み、気持ちを切り替え、進路実現に向かってスタートを切って下さい。

1年生は、入学してから、日々の生活で十分な成果を上げることができたでしょうか？自分の目標をもう一度思い出し、見直して下さい。できれば、目標は高いレベルに設定すると良いと思います。甲子園を目指すなら、どんな困難にも打ち勝つ気力と努力が必要です。ただ出場すればいいなら努力する必要はありません。しかし、前者の方が自分を成長させてくれるのは確かです。できるなら、目標を高く掲げ努力してほしいと思います。

3年生で、すでに進路の決まった人は、残された期間を大事にし、有意義に過ごしてください。

多くの方は、これから受験を控えていると思います。この時期が一番不安なのです。模試の成績が振るわなかったり、時間が迫る中、問題一つわからないと焦るものです。

けれど、こんな時だから、ポジティブに考えましょう！ネガティブに物事を考えて何か解決するのでしょうか？

皆さんは、今、大事な試合の打席に立とうとしています。また、演奏会のステージに立とうとしています。失敗したらどうしようとばかり考えていたら、いい演奏もできないのではないのでしょうか？

失敗することを恐れるのでなく、日ごろの努力の成果を出すことだけを心がけ、決然と、強い心で打席に向かって下さい。

今までの練習を信じて、自分を信じて、仲間を信じて、自信を持つしかないではありませんか？

どうせ努力するのなら、前向きに、明るく頑張りましょう！

先日亡くなったネルソン・マンデラ氏の残した私の好きな言葉を贈ります。

生きるうえで 最も偉大な栄光は、

決して転ばないことにあるのではない。

転ぶたびに 起き上がり続けることにある。

遅くまで図書室や教室で頑張っている諸君を見るにつけ、懸命に、一心不乱に努力している君が夢をつかんでほしいと思っています。

ご家族も、担任の先生方も同じ気持ちだと思います。本当に、全員が合格してほしいと願わずにはいられません。

そのために、今は無心で、最後の最後まであきらめることなく、最善を尽くしてください。

3年生頑張れ！

これで終業式の話が終わります。